

# 無痛分娩の看護

2025.4 分娩室マニュアルより一部抜粋

## 1. 助産師の役割

- ① 患者への情報提供と教育
- ② 医師との連携
- ③ 麻酔実施前後の状態観察
- ④ 患者の心理的サポート

## 2. 入院から分娩までの流れ

### 1) 入院時

- ① 無痛分娩同意書の確認
- ② 3 6 週の外来受診時に、血算・凝固 (PT-INR・APTT) の採血の実施
- ③ 症例によっては術前検査を行う
- ④ カテーテル挿入部の皮膚トラブルの有無の観察
- ⑤ 医師による診察 (頸管拡張の有無の検討)
- ⑥ オリエンテーション
  - ・ スケジュールの確認
  - ・ 硬膜外カテーテル挿入時の体勢の練習
  - ・ 夕方の診察前までにシャワーを浴びておく
  - ・ 麻酔効果判定で実施する NRS/コールドテストについて
  - ・ 食事について (麻酔導入がなければ摂取可能。たんぱく質を含まないゼリー飲料は可能。)

### 2) 分娩誘発開始時

- ① 6 時 30 分に分娩室へ移動する。
- ② 診察後、促進剤点滴を開始する。

### 3) 硬膜外カテーテル挿入

- ① 排泄をすませておく。
- ② 補液を開始する。
- ③ 医師・介助者はマスク・帽子・ガウンを着用する。
- ④ 血圧測定 (カテーテル挿入前、薬液注入とから 3 0 分間は 5 分間隔で測定)、SpO<sub>2</sub>、心拍数を連続測定する。
- ⑤ 体位固定 (患者の頸部と膝窩を支持する)。